

転倒転落防止情報⑱

情報共有ファイルの運用について

外来や検査に出る際に転倒リスクがある場合や注意が必要な患者さんに情報共有ファイルを使用して下さい。一つの情報共有ツールとして以下のような流れを参考にして下さい。

<病棟での使用例>

- ①検査の準備の際に介助や注意が必要な患者さんの用紙をファイルに挟む
- ②ファイルを使用している患者さんを搬送する人は、出棟先で転倒のリスクがあることなど伝えるべき注意事項を出棟先の職員に伝える（渡してもよい）
- ③共有ファイルは一時的に渡してもよいが、帰りは回収して帰る

この患者さんは転倒するかもしれないな。気をつけなきゃ

ちゃんと転倒の危険性を伝えなきゃ



<情報共有ファイル>